

司法試験受験特別措置申請書(案)
(第二次試験短答式試験)

平成 年 月 日

司法試験委員会 御中

試験地

ふりがな
氏名

生年月日 年 月 日

住所

電話番号

1 身体障害の程度（*該当する事項の下欄に 印を記入してください。）

身体障害者手帳の交付を受けている方は 右に必要な事項を記入してください。						・交付番号： ・交付年月日： ・障害名： ・障害の級別：
視 覚 障 害					聴覚障害	
両眼の視力の和が 0.04以下の者	両眼の視野が 10度以内でかつ 両眼による視野 について視能率 による損失率が 95%以上の者	良い方の眼の視 力が0.15以 下の者	両眼の視野が 10度以内でかつ 両眼による視野 について視能率 が90%以上の者	一眼の視力が 0.02以下、 他眼の視力が 0.60以下の者	左記区分以外の 視覚障害を有する者	聴覚に障害を 有する者
肢 体 不 自 由					そ の 他 傷 病	
体幹又は上肢の機 能障害を有する者 で、筆記による解 答が不可能な上 に、発音に障害を 有するため、意思 伝達に著しく時間 を要するもの	体幹又は上 肢の機能障害 を有する者 で、筆記によ る解答が不可 能なもの	体幹又は上 肢の機能障害 を有する者 で、健常者に 比し筆記速度 が著しく遅い もの	体幹又は上 肢の機能障害 を有する者 で、指定した 方法による解 答が困難な もの	左記以外の肢 体不自由者		
この欄には、該当する事項が「その他」の場合または他に補足すべき事項がある場合にはその症状等を具体的に記入してください。						

視覚障害者の欄の視力については万国式視力表によって測ったものをいい、屈折異常のある者については、矯正視力について測ったものをいう。

2 受験に際して希望する措置（*希望する措置の下欄に 印を記入してください。）

視 覚 障 害							
点字による 出題及び解 答	試験時間の延長	点字器具の持 参使用（具体 的な器具を備 考欄に記載し てください）	ラインマー カーの代用とし てのセロテー プ、付せん、 クリップ等の 使用	試験時間の延 長	拡大問題集の 配布	拡大答案用紙 の配布	文字式解答*

視 覚 障 害							
拡大読書器・ 拡大鏡 の持参使用 （ を付して ください）	照明器具の持 参使用	サングラス等 の持参使用	窓側（明るい 席）への配席	文字式解答*	拡大問題集の 配布	拡大答案用紙 の配布	拡大読書器・ 拡大鏡の持参 使用（同上）

視 覚 障 害			聴 覚 障 害			肢 体 不 自 由	
照明器具の持 参使用	サングラス等 の持参使用	窓側（明るい 席）への配席	注意事項等の 文書による伝 達	座席を前列に 配席	補聴器の持参 使用	代筆者の配置	ワードプロセ ッサの使用

肢 体 不 自 由							
介助者の配置	代筆者の配置	ワードプロセ ッサの使用	介助者の配置	試験時間の延 長	拡大答案用紙 の配布	文字式解答*	ペン又はボール ペンの持参 使用

肢 体 不 自 由 ～ 共 通				
床に座す、横 臥しての受験	脚が伸ばせる 配席	マット、布団 類の持参使用	小型機及び椅 子の持参又は 貸与による使 用	1階又はエレ ベーターのあ る棟の試験室 への割り振り

*文字式解答ではマークシート用紙の選択肢に などの印をつけるチェック方式又は文字式解答の答案用紙に算用数字で選択肢の番号を解答する方法があります。

肢 体 不 自 由 ・ 病 弱 等						そ の 他
車いす受験	試験室の出入 口付近への配 席	トイレに近い 試験室又は配 席	試験時間内の 薬及び水の飲 用（試験室外）	試験室入退出 時の付添人の 同伴	自家用車等の試験場構内の 乗り入れ・駐 車 （ を付してください） 使用する車のナンバーを備 考欄に記入してください	

〔備考〕 この欄には、該当する事項が「その他」の場合に希望する措置を具体的に記入してください。

3 司法試験第二次試験を受験した直近の年度を記入してください。
平成 年度

記入上の注意
本申請書のほかに、次のいずれかの書類を添付してください。
障害者手帳をお持ちの方は障害者手帳の写し。
医師の診断書（それぞれ希望する措置の必要性について、意見を記載してもらうこと。）
ただし、傷病や措置の 内容によっては、司法試験委員会指定の診断書を提出いただく場合があります。

（注） 「代筆の配置」に該当する者が、解答手段としてワードプロセッサの持参使用を希望する場合は、審査の上、使用方法を制限することがあります。

司法試験受験特別措置申請書(案)
(第二次試験論文式試験)

平成 年 月 日

司法試験委員会 御中

試験地

ふりがな
氏名

生年月日 年 月 日

住所

電話番号

1 身体障害の程度 (*該当する事項の下欄に 印を記入してください。)

身体障害者手帳の交付を受けている方は 右に必要な事項を記入してください。						・交付番号: ・交付年月日: ・障害名: ・障害の級別:	
視 覚 障 害						聴覚障害	
両眼の視力の和が 0.04以下の者	両眼の視野が 10度以内でかつ 両眼による視野 について視能率 による損失率が 95%以上の者	良い方の眼の視 力が0.15以下 の者	両眼の視野が 10度以内でかつ 両眼による視野 について視能率 が90%以上の者	一眼の視力が 0.02以下、 他眼の視力が 0.60以下の者	左記区分以外の 視覚障害を有す る者	聴覚に障害を 有する者	
肢 体 不 自 由						そ の 他 傷 病	
体幹又は上肢の機 能障害を有する者 で、筆記による解 答が不可能な上 に、発音に障害を 有するため、意思 伝達に著しく時間 を要するもの	体幹又は上肢 の機能障害を 有する者で、 筆記による解 答が不可能な もの	体幹又は上肢 の機能障害を 有する者で、 健常者に比し 筆記速度が著 しく遅いもの	体幹又は上肢 の機能障害を 有する者で、 指定した方法 による解答が 困難なもの	左記以外の肢 体不自由者			
この欄には、該当する事項が「その他」の場合または他に補足すべき事項がある場合にはその症状等を具体的に記入してください。							

視覚障害者の欄の視力については万国式視力表によって測ったものをいい、屈折異常のある者については、矯正視力について測ったものをいう。

2 受験に際して希望する措置 (*希望する措置の下欄に 印を記入してください。)

視 覚 障 害							
点字による出 題及び解答	試験時間の延 長	点字司法試験 用法文の貸与	点字器具の持 参使用	ラインマーカ ーの代用とし てのセロテー プ、付せん、 クリップ等の 使用	試験時間の延 長	拡大問題集の 配布	拡大答案用紙 の配布

視 覚 障 害							
拡大した司法試験用法文の貸与	拡大読書器・拡大鏡の持参使用（を付してください）	照明器具の持参使用	サングラス等の持参使用	窓側（明るい席）への配席	拡大問題集の配布	拡大答案用紙の配布	拡大した司法試験用法文の貸与

視 覚 障 害				聴 覚 障 害		
拡大読書器・拡大鏡の持参使用（を付してください）	照明器具の持参使用	サングラス等の持参使用	窓側（明るい席）への配席	注意事項等の文書による伝達	座席を前列に配席	補聴器の持参使用

肢 体 不 自 由						
ワードプロセッサの使用（入力装置はキーボードに限る）	介助者の配置	ワードプロセッサの使用（入力装置はキーボードに限る）	介助者の配置	試験時間の延長	拡大答案用紙の配布	サインペンの持参使用

肢 体 不 自 由 ～ 共 通					
答案用紙の折り曲げての使用	床に座す、横臥しての受験	脚が伸ばせる配席	マット、布団類の持参使用	小型机及び椅子の持参又は貸与による使用	1階又はエレベーターのある棟の試験室への割り振り

肢 体 不 自 由 ・ 病 弱 等					そ の 他
車いす受験	試験室の出入口付近への配席	トイレに近い試験室又は配席	試験時間内の薬及び水の飲用（試験室外）	試験室入退出時の付添人の同伴	自家用車等の試験場構内の乗り入れ・駐車（を付してください）使用する車のナンバーを備考欄に記入してください

〔備考〕 この欄には、該当する事項が「その他」の場合に希望する措置を具体的に記入してください。

3 司法試験第二次試験を受験した直近の年度を記入してください。

平成 年度

記入上の注意
 本申請書のほかに、次のいずれかの書類を添付してください。
 障害者手帳をお持ちの方は障害者手帳の写し。
 医師の診断書（それぞれ希望する措置の必要性について、意見を記載してもらうこと。）
 ただし、傷病や措置の内容によっては、司法試験委員会指定の診断書を提出いただく場合があります。

（注） 「代筆の配置」に該当する者が、解答手段としてワードプロセッサの持参使用を希望する場合は、審査の上、使用方法を制限することがあります。

司法試験受験特別措置申請書(案)
(第二次試験口述試験)

平成 年 月 日

司法試験委員会 御中

試験地

ふりがな
氏名

生年月日 年 月 日

住所

電話番号

1 身体障害の程度 (*該当する事項の下欄に 印を記入してください。)

身体障害者手帳の交付を受けている方は 右に必要な事項を記入してください。								・交付番号: ・交付年月日: ・障害名: ・障害の級別:	
視覚障害						聴覚障害			
両眼の視力の和が0.04以下の者	両眼の視野が10度以内かつ両眼による視野について視能率による損失率が95%以上の者	良い方の眼の視力が0.15以下の者	両眼の視野が10度以内かつ両眼による視野について視能率が90%以上の者	一眼の視力が0.02以下、他眼の視力が0.60以下の者	左記区分以外の視覚障害を有する者	両耳の聴力レベルが70デシベル以上の者(40cm以上の距離で発声された会話を理解し得ないもの)	一側耳の聴力レベルが90デシベル以上、他側耳の聴力レベルが50デシベル以上の者		
聴覚障害	肢体不自由					音声機能障害	その他傷病		
上記以外の聴覚障害者	体幹又は上肢の機能障害を有する者で、筆記による解答が不可能な上に、発音に障害を有するため、意思伝達に著しく時間を要するもの	体幹又は上肢の機能障害を有する者で、筆記による解答が不可能なもの	体幹又は上肢の機能障害を有する者で、健常者に比し筆記速度が著しく遅いもの	体幹又は上肢の機能障害を有する者で、指定した方法による解答が困難なもの	左記以外の肢体不自由者	音声・言語機能を喪失した者 音声・言語機能障害が著しい者			
この欄には、該当する事項が「その他」の場合または他に補足すべき事項がある場合にはその症状等を具体的に記入してください。									

視覚障害者の欄の視力については万国式視力表によって測ったものをいい、屈折異常のある者については、矯正視力について測ったものをいう。

2 受験に際して希望する措置（*希望する措置の下欄に 印を記入してください。）

視 覚 障 害		聴 覚 障 害			音声・言語機能障害	肢体不自由
点字司法試験 用法文の貸与	拡大した司法試験 用法文の貸与	筆談による発 問及び解答	注意事項等の 文書による伝 達	補聴器の持参 使用	筆談による解 答	介助者の配置

肢 体 不 自 由 ・ 傷 病 等		そ の 他
車いす受験	試験室入退出 時の付添人の 同伴	自家用車等の試験場構内の 乗り入れ・駐 車 （ を付してください） 使用する車のナンバーを備 考欄に記入してください

この欄には、該当する事項が「その他」の場合に希望する措置を具体的に記入してください。

3 司法試験第二次試験を受験した直近の年度を記入してください。

平成 年度

記入上の注意
 本申請書のほかに、次のいずれかの書類を添付してください。
 障害者手帳をお持ちの方は障害者手帳の写し。
 医師の診断書（それぞれ希望する措置の必要性について、意見を記載してもらうこと。）
 ただし、傷病や措置の内容によっては、司法試験委員会指定の診断書を提出いただく場合があります。

司法試験受験特別措置申請書(案)
(第一次試験)

平成 年 月 日

司法試験委員会 御中

試験地

ふりがな
氏名

生年月日 年 月 日

住所

電話番号

1 身体障害の程度 (*該当する事項の下欄に 印を記入してください。)

身体障害者手帳の交付を受けている方は 右に必要な事項を記入してください。						・交付番号: ・交付年月日: ・障害名: ・障害の級別:
視 覚 障 害					聴覚障害	
両眼の視力の和が 0.04以下の者	両眼の視野が 10度以内でかつ 両眼による視野 について視能率 による損失率が 95%以上の者	良い方の眼の視 力が0.15以下 の者	両眼の視野が 10度以内でかつ 両眼による視野 について視能率 が90%以上の 者	一眼の視力が 0.02以下、 他眼の視力が 0.60以下の 者	左記区分以外の 視覚障害を有す る者	聴覚に障害を 有する者
肢 体 不 自 由					そ の 他 傷 病	
体幹又は上肢の機 能障害を有する者 で、筆記による解 答が不可能な上 に、発音に障害を 有するため、意思 伝達に著しく時間 を要するもの	体幹又は上肢 の機能障害を 有する者で、 筆記による解 答が不可能な もの	体幹又は上肢 の機能障害を 有する者で、 健常者に比し 筆記速度が著 しく遅いもの	体幹又は上肢 の機能障害を 有する者で、 指定した方法 による解答が 困難なもの	左記以外の肢 体不自由者		
この欄には、該当する事項が「その他」の場合または他に補足すべき事項がある場合にはその症状等を具体的に記入して ください。						

視覚障害者の欄の視力については万国式視力表によって測ったものをいい、屈折異常のある者については、矯正視力につい
て測ったものをいう。

2 受験に際して希望する措置 (*希望する措置の下欄に 印を記入してください。)

視 覚 障 害							
点字による出 題及び解答	試験時間の延 長	点字器具の持 参使用	ラインマーカ ーの代用とし てのセロテー プ、付せん、 クリップ等の 使用	拡大問題集の 配布	拡大答案用紙 の配布	拡大読書器・ 拡大鏡の持 参使用 (を付して ください)	照明器具の持 参使用

視 覚 障 害							
サングラス等の持参使用	窓側（明るい席）への配席	拡大問題集の配布	拡大答案用紙の配布	拡大読書器・拡大鏡の持参使用（を付してください）	照明器具の持参使用	サングラス等の持参使用	窓側（明るい席）への配席

聴 覚 障 害			肢 体 不 自 由				
注意事項等の文書による伝達	座席を前列に配席	補聴器の持参使用	代筆者の配置	ワードプロセッサの使用	試験時間の延長	介助者の配置	代筆者の配置

肢 体 不 自 由			
ワードプロセッサの使用	介助者の配置	試験時間の延長	拡大答案用紙の配布

肢 体 不 自 由 ～ 共 通				
床に座す、横臥しての受験	脚が伸ばせる配席	マット、布団類の持参使用	小型机及び椅子の持参又は貸与による使用	1階又はエレベーターのある棟の試験室への割り振り

肢 体 不 自 由 ・ 傷 病 等						そ の 他
車いす受験	試験室の出入口付近への配席	トイレに近い試験室又は配席	試験時間内の薬及び水の飲用（試験室外）	試験室入退出時の付添人の同伴	自家用車等の試験場構内の乗り入れ・駐車（を付してください）使用する車のナンバーを備考欄に記入してください	

〔備考〕 この欄には、該当する事項が「その他」の場合に希望する措置を具体的に記入してください。

3 司法試験第二次試験を受験した直近の年度を記入してください。

平成 年度

記入上の注意
 本申請書のほかに、次のいずれかの書類を添付してください。
 障害者手帳をお持ちの方は障害者手帳の写し。
 医師の診断書（それぞれ希望する措置の必要性について、意見を記載してもらうこと。）
 ただし、傷病や措置の内容によっては、司法試験委員会指定の診断書を提出いただく場合があります。

（注） 「代筆の配置」に該当する者が、解答手段としてワードプロセッサの持参使用を希望する場合は、審査の上、使用方法を制限することがあります。